

MISSION 1.5

ミッション1.5(ワン・ポイント・ファイブ)

2027 年 7 月 1 日までに、ライオンズクラブ国際協会は全世界合計会員数 150 万人（ワン・ポイント・ファイブ・ミリオン）を達成する。

- すべての会則地域で 2026 – 2027 年度までに会員純増を達成する。
- すべての地区で、新クラブを結成する。
- Mission1.5 期間中に、すべてのクラブが新会員を迎える。
- すべての地区は、女性や若手会員を含め、より多様な会員を迎え入れるための戦略を策定する。

ライオンズクラブ国際協会は、世界最大の会員を母体とする奉仕組織として、200 の国と地域、4 万 9 千のクラブによる活動を通して、人道的ニーズに応えてきました。

1917 年以来、自ら汗をかく奉仕活動で、ライオンズは人々の健康と環境を改善し、コミュニティを強化し、弱者を支援してきました。

会員数を増やすことは、クラブが奉仕活動を行う力を維持することにつながります。より力強い会員によるボランティアネットワークを築き、グローバルな奉仕目標への意識を高め、世界にポジティブな変化をもたらすのが私たちの使命です。

奉仕活動を行うキャパシティ（能力）を高めるために

- 多様性と組織の包容力を高める（ダイバーシティとインクルージョン）
- 活動範囲と影響力を広げる
- 会員であることのメリットを高める つまり、会員制組織として、会員数が多ければ、それだけ幅広いネットワーキングの機会を会員に提供
- 資金力の増大 会員が増えれば、組織としての資金力は高まる

現在は年間およそ 5 億人への奉仕活動を提供しています。組織として、ライオンズは年間 10 億人への奉仕を目指します。

LCIF キャンペーン 100 の成功で、奉仕を拡大するための財団資金を獲得することが出来ました。次は、これを活かすために意義のある奉仕活動に携わる会員を増やすときです。

⇒ 次の 100 年、組織としての活力を維持し、奉仕を続けるために

組織アプローチ

国際会長と副会長がミッション 1.5 の総責任者

- ▶ 執行役員チームは国際会長が統括
- ▶ 次期国際会長が、次期副会長の会則地域割り当てを決定
- ▶ 各副会長は、会則地域リーダーを統括
- ▶ 執行役員チームは、各会則地域、複合地区、地区のチームが成功し、目標を達成することに責任を負う
- ▶ 会則地域 5（オセアル）は、元国際会長が分担して会則地域リーダーを務める

ミッションと今後のプロセス

2023 – 2024 年度の日本へのミッション

- 純増 500 人
- すべての地区で新クラブを結成

今後のプロセス

1. 会則リーダーと執行役員による、各地区目標の見直し
2. 地区ガバナーチームによる地区目標の見直し

3. 最低でも月に1回のミッション報告会議を以下のレベルでそれぞれ必ず実施する
1. 会則リーダー、国際理事、GAT エリアリーダーの会議
 2. エリアリーダーと複合地区議長（複合地区のミッション責任者）、グループリーダーの会議
 3. エリアリーダーと各複合地区議長、所属地区ガバナー（地区でのミッション責任者）、地区 GET コーディネーターまたはミッション担当となるコーディネーターとの会議
 4. 地区ミッション責任者・担当者とゾーンチェアパーソン・リジョンチェアパーソンとの会議

GAT とグループリーダーの責任



役割と責任の概要:リーダーに適用

ミッションへの理解とコミットメント

- M1.5の全レベルの役割と責任を理解し個人としてコミットする
- すべてのレベルの会員とオープンなコミュニケーションと協力

具体的なリーダーシップの発揮 (模範を示す)

- 1名新会員をスポンサーする。1クラブ結成する。
- モチベーションとインスピレーションを与え、支援する
- 表彰を行い、必要があれば方針を正す

アカウンタビリティ

- M1.5の取り組みと目的を自分のこととして取り組む
- 実践的、具体的な報告を行い、担当地域の成功と課題を共有する
- 目標達成に重点を置く

行動力

- M1.5のプロモーション研修、そして実践
- 担当者からの報告を受け、具体的な戦略を指示
- すべてのレベルで提供しているサポートが、既存クラブや新クラブのためになっているかを確認